

教職員の勤務状況等調査結果【令和5年10月のまとめ】

令和5年12月 群馬県教育委員会 学校人事課管理係

毎月の勤務状況等調査に御協力いただきありがとうございます。令和5年10月分の勤務状況等調査の集約結果を以下の通り報告いたします。学期末事務処理で忙しい時期となりました。業務効率化を進めていただいているところではありますが、それでも削減しようのない大切な業務も少なくないと思います。各学校の教職員の皆様には、体調管理に十分に御留意され、2学期の締めくりをお願いできればと思います。

L 令和5年10月の状況について

■令和4年10月との比較では、小学校を除いて45時間以下の方が増加しております。また、全教職員の時間外在校等時間(月間)の平均値では、特別支援学校での「1時間32分減少」を筆頭に着実な改善がみられております。

2ページ目には、平成30年以降の10月のデータを掲載しました。平成30年度、令和元年度は抽出校のみの調査であったため正確な比較ではありませんが、この5年間で長時間勤務を行っている教職員の割合は確実に改善してきています。

働き方改革の目的は、教員がゆとりをもって子どもたちと向き合ったり、よりよい授業を創り出したりすることにありますので、必ずしも時間外在校等時間が減ることが働き方改革のすべてではありません。しかし、先生方の健康があって初めて充実した教育を行うことにつながります。日頃から業務改善の意識をもち、先生方にとって働きやすい職場、魅力ある職場となりますよう、御理解御協力をお願いいたします。

		45H以下	80H超	平均時間外 在校等時間
小学校	R4年10月	75.0%	1.3%	33:58
	R5年10月	75.0%	1.5%	33:47
		増減なし	0.2 pt増	11分減
中学校	R4年10月	46.5%	11.6%	48:45
	R5年10月	48.8%	11.2%	47:44
		2.3 pt増	0.4 pt減	1時間01分減
高等学校 (中等含む)	R4年10月	71.7%	6.6%	33:13
	R5年10月	72.6%	5.8%	32:41
		0.9 pt増	1.2 pt減	32分減
特別支援学校	R4年10月	96.1%	0.1%	18:12
	R5年10月	96.9%	0.1%	16:40
		0.8 pt増	増減なし	1時間32分減



業務状況等調査における回答(自由記述)より

■県内の全校長先生、抽出校の職員の方々にお世話になり、今年度も8~9月に教職員の業務状況等調査を行いました。この調査結果については、11月に行われた教職員の多忙化解消に向けた協議会において協議資料として活用させていただきました。

各校における業務改善の工夫や特筆すべき取組について、自由記述欄に入力いただいた回答の一部を御紹介いたします。

○プールの老朽化に伴い町内全3小学校のプールを廃止し、スイミングスクールの施設を利用して、スイミングスクールの指導者とのTTによる水泳指導を行っている。利用する時期を自由に設定できず、年によっては真冬に水泳をしなければならないデメリットはあるものの、プールの管理業務がないことは大きな負担軽減になっている。

【小学校】

○職員室にある出張等の日予定の黒板のICT化をしています。職員室のモニターを活用して、データで管理しています。【小学校】

○職員会議や校内研修など、各種会議において、端末を利用することで、資料印刷が不要となったため、印刷等の資料作成及び配布する時間が大幅に解消し、教頭の業務が軽減された。【小学校】

○クラス担任を固定せず、週替わりですべての職員が担任業務を行う「チーム担任制」を取り入れることで、職員業務の平準化を図った。【中学校】

○年度初めPTA総会は、書面開催とし資料を事前にデジタル配信して、フォームで議題承認の決議や意見集約をしたことで、駐車場の確保や会場の設営などの準備が不要になった。【中学校】

○水泳指導時における健康観察(家庭からの連絡)のICT化【中学校】

○年度当初の新入生関係行事(対面式やオリエンテーション等)を統合し規模を縮小。中学生向けの学校説明会の回数を削減。服装頭髪検査の回数を削減。職員朝会の回数を削減(月水金の3回)。等【高等学校】

○学校説明会の申し込み(中学校側)をSNS上での入力方法へ変更【高等学校】

○校務分掌の精選、入学予定者説明会の動画配信【高等学校】

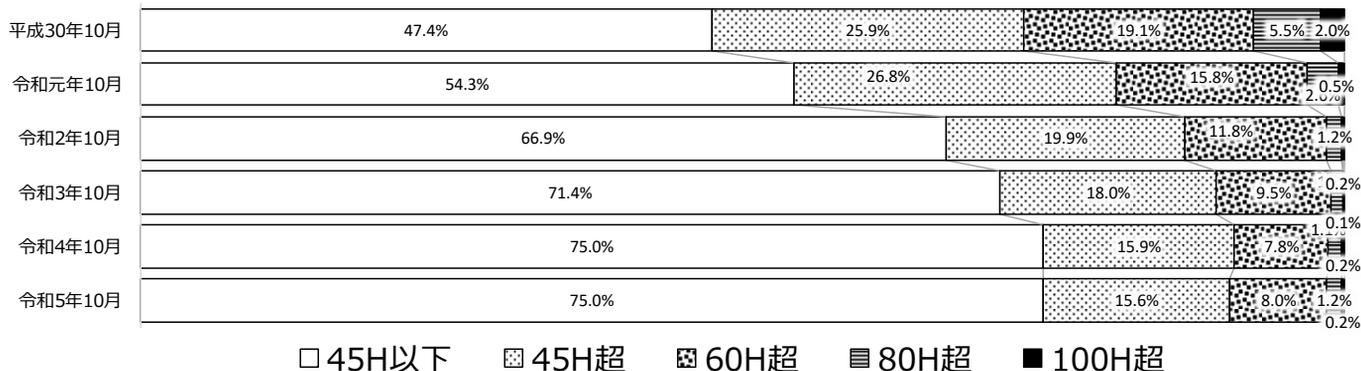
○福祉パレードを集会形式にし、担当職員の負担を大幅に軽減できた。【特別支援学校】

たくさんの御意見をいただきありがとうございました。今回、一部の御意見を抜粋にて御紹介させていただいています。すべてを御紹介できず申し訳ありません。なお、業務や行事の廃止・縮小については、学校の実情や教育的意義を踏まえ、代替案の実施と合わせて検討をお願いします。

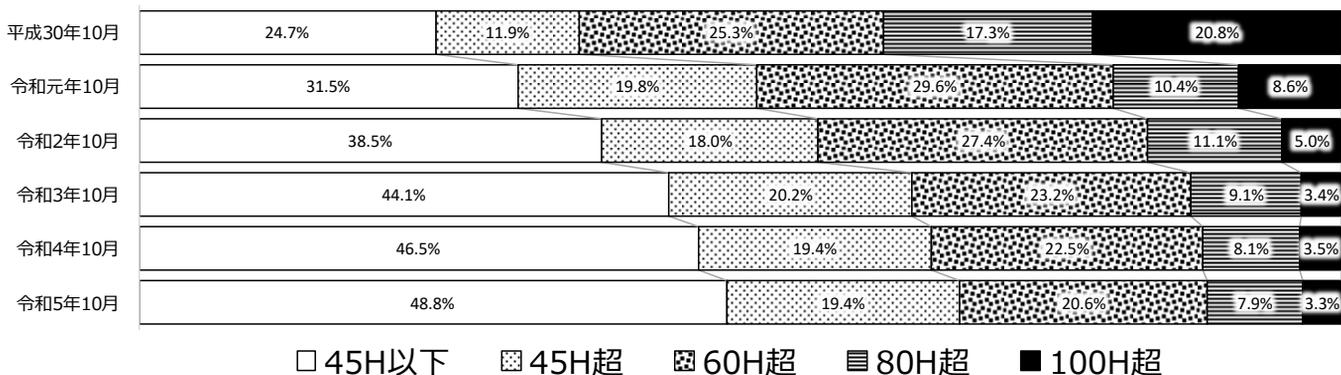
時間外在校等時間の状況【10月の経年変化】

[H30、R元は抽出校を、R2～は市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

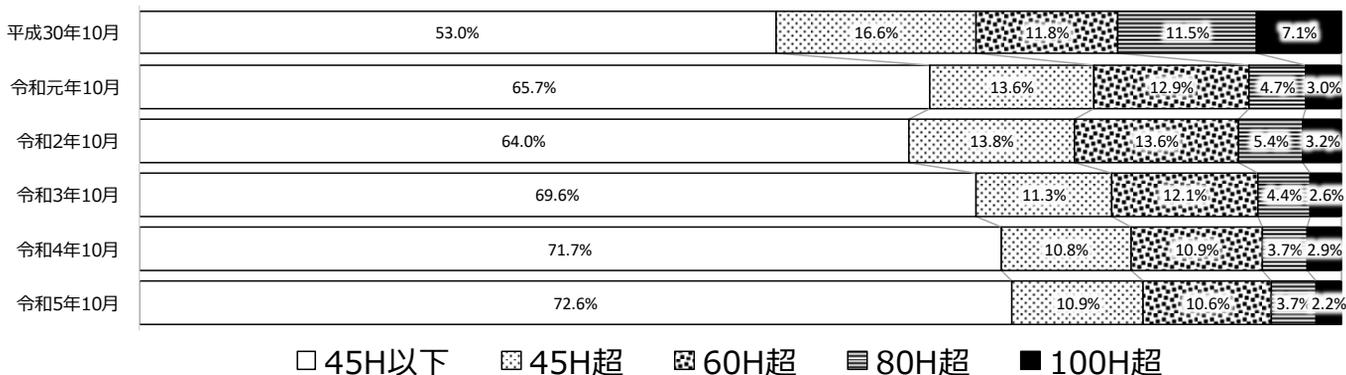
1 小学校の状況



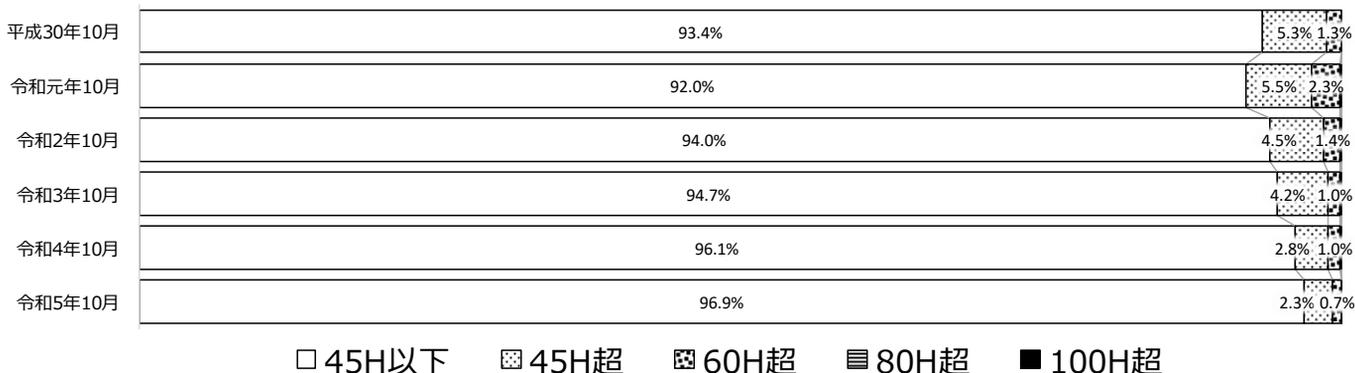
2 中学校の状況（市立の義務教育学校を含む）



3 高等学校の状況（県立・市立の中等教育学校、市立の高校を含む）



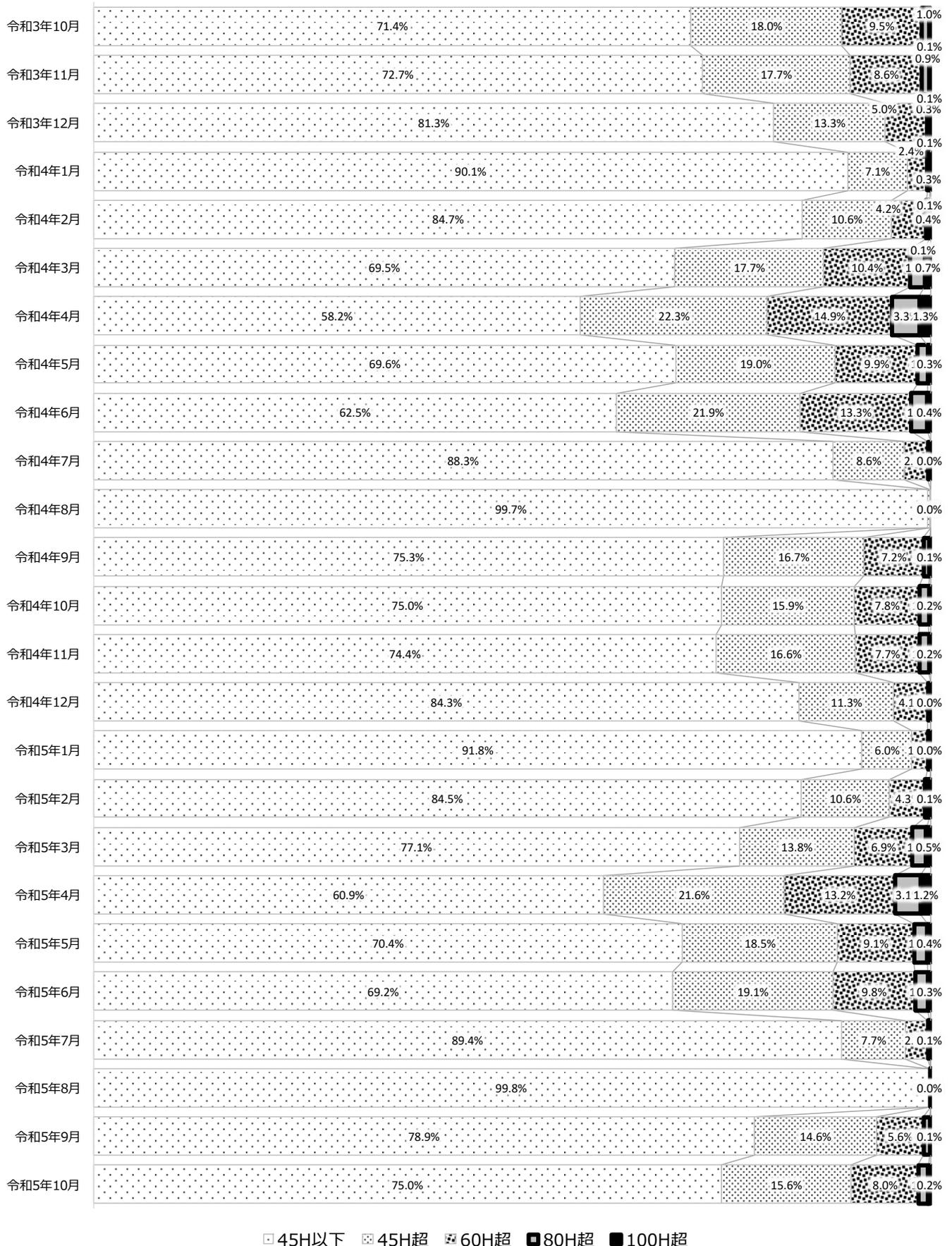
4 特別支援学校の状況（市立の特別支援学校を含む）



時間外在校等時間の状況【令和3年10月～】

[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

1 小学校の状況

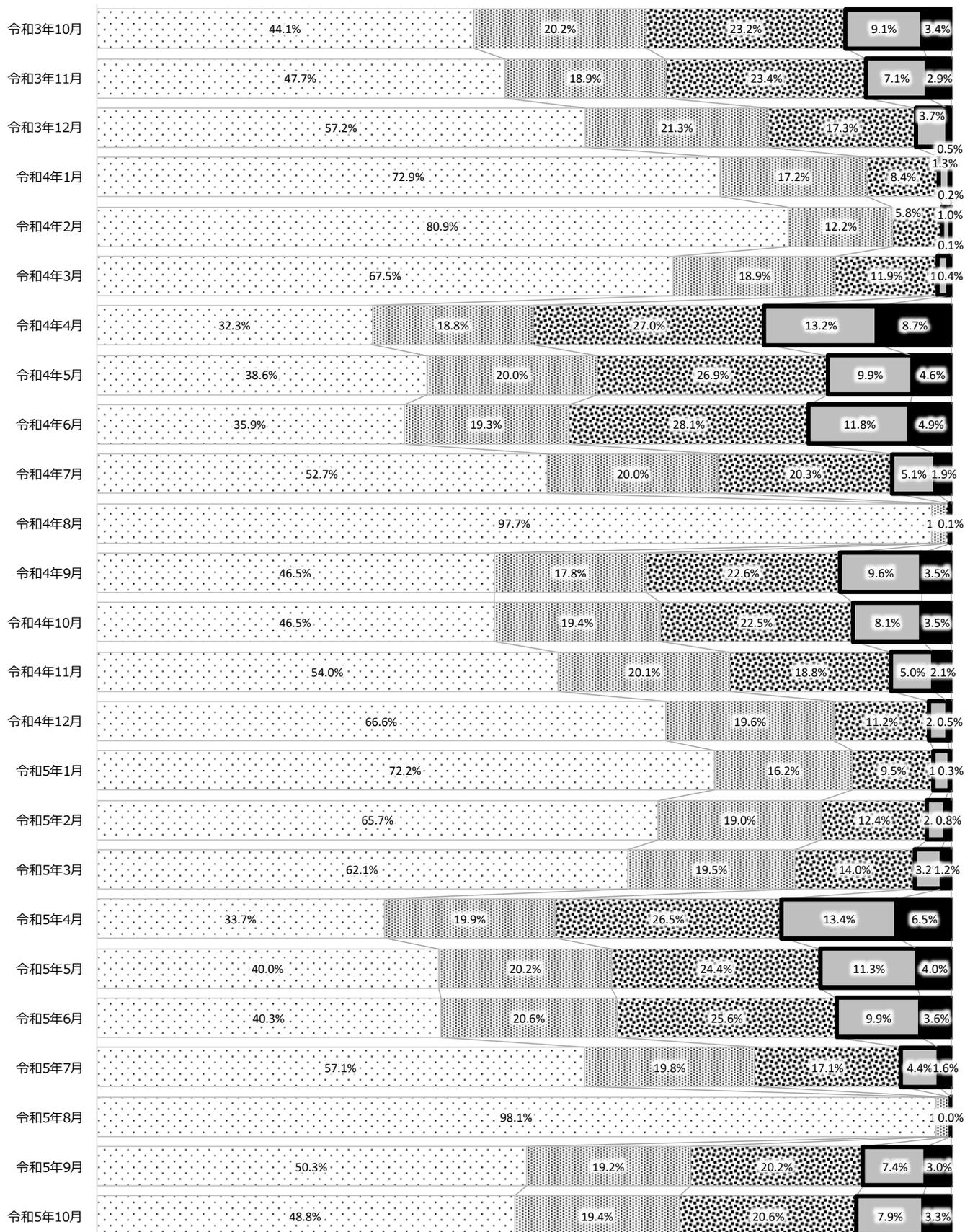


□ 45H以下 ▨ 45H超 ▩ 60H超 ■ 80H超 ● 100H超

時間外在校等時間の状況【令和3年10月～】

[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

2 中学校の状況（市立の義務教育学校を含む）

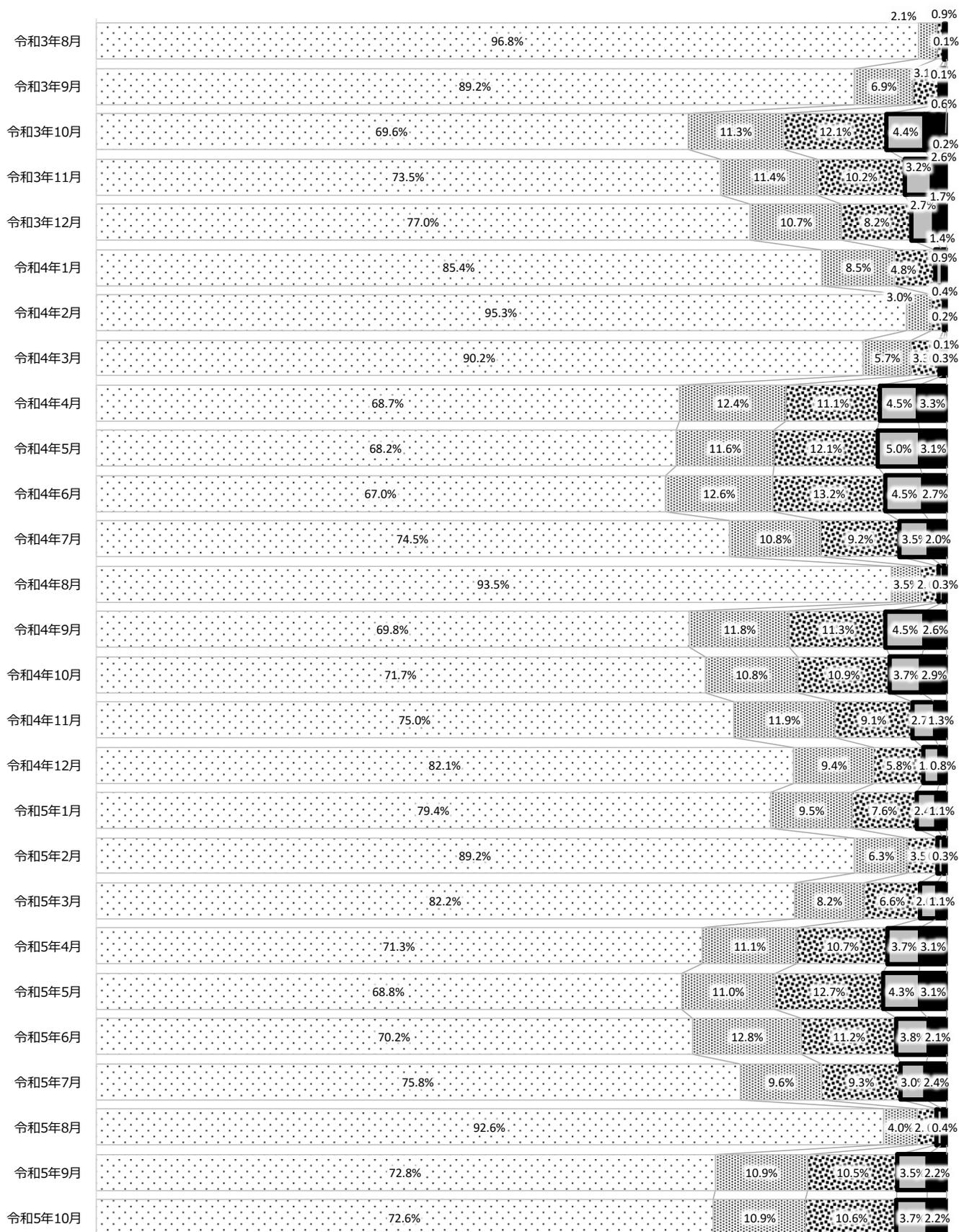


□ 45H以下 ■ 45H超 ▨ 60H超 ▩ 80H超 ■ 100H超

時間外在校等時間の状況【令和3年10月～】

[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

3 高等学校の状況（県立・市立の中等教育学校含む）



□ 45H以下 ■ 45H超 ▨ 60H超 ■ 80H超 ■ 100H超

時間外在校等時間の状況【令和3年10月～】

[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

4 特別支援学校の状況（市立の特別支援学校を含む）

